

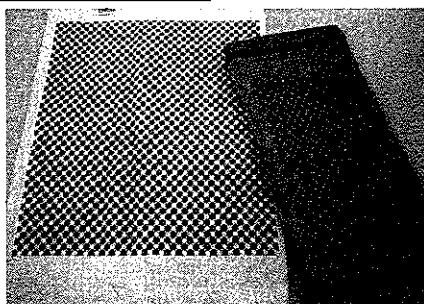
東光商事と東光リミィ

医療^なと新分野開拓に本腰

温感商品など充実して

東光商事(大阪市西区)まで幕張メッセ(千葉市)とそのアパレル子会社、東光リミィ(同)は、治療機器・設備「EXPLO」ラヘルツ人工鉱石を使用した冷感商品「テラックスクール」や、温感商品の「テラックスホット」の「テラックスウォーマー」などの拡販に本腰を入れる。衣料品では既に実績を積み重ねているが、「新たな用途販路を開拓したい」とし、明日12日から14日

まで幕張メッセ(千葉市)で開催される「第一回医療機器・設備「EXPLO」に出展し、大々的に訴求する。東光リミィは数年前から、温感商品や冷感商品の開発、拡販に力を入れ、主にシャツやベストといった衣料品用途で成果を出してきた。2016年ごろからは東光商事のテキスタイル部門との連携



テラヘルツ人工鉱石の粉体をプリントしたサポーターと腹巻き

EXPLOへの出展を決めた。提案商品は、人体に害がなく、光と電波の両方の性質を持った電磁波であるテラヘルツ波を活用したテラックスホットとテラックスウォーマーが軸となる。テラックスホットは、テラヘルツ波が人体の熱エネルギーを増幅させ、体内の水分子活動を活発にするため、医療機器・設備

も強め、スポーツウェアなどで実績を積み重ねる。今後はさらなる拡販に向けて、衣料品以外の販路開拓に力を入れる。そのため、医療機器・設備

も強め、スポーツウェアなどで実績を積み重ねる。今後はさらなる拡販に向けて、衣料品以外の販路開拓に力を入れる。そのため、医療機器・設備

ラヘルツ人工鉱石を粉体として加工することで、温感だけでなく痛みの軽減などさまざまな効果が期待できる。同社が行うモニター試験では、便秘の解消、膝の痛みの軽減といった声が着用者から届いている。アイテムは腹巻きやサポーターなど。

新規投入のテラックスウォーマーは、テラックスホット加工素材、アルミ蒸着、セミンヒーターのトリプル保温設計から成る複合素材で、テラックスホットの効果より高めたようなイメージ。バッテリー装着によって温度調節も可能とし、抗酸化機能も併せ持つ。こちらも医療器具としてさまざまな効能が期待できると言う。アイテムは腰ベルトなど。

テラックスホットは、テラヘルツ人工鉱石の鉱石パウダーと異素材の組み合わせによって発熱性能を持ったものだが、異素材の選定によって冷感にアプローチすることもできる。テラックススクールとして既に商品化しており、大手ゴルフウェアブランドと協業したシャツ

が爆発的に売れたなどの実績を持つ。同社によるとテラヘルツ人工鉱石は入手も容易で、それ自体に同社の独自性はない。同社の展開する商品は、純度の高い鉱石を使用しているほか、生地へのプリント技術、異素材との配合技術に独自性があると言う。関連して9月から遠赤外線協会にも加盟した。今回の展示会で医療機器としての可能性を探って販路開拓を狙い、将来的には介護やヨガ、サプリメント分野までを見据えた展開を考えている。